

応用数理総説 数理論理学特論 応用数理特殊講義F I

河村 彰星 講師

(京都大学数理解析研究所・准教授)

談話会	<p>5月18日(月) 16:00～ 「輪番割当と密度」</p> <p>いくつかある仕事のそれぞれについて、どの連続する〇〇日にも一度以上やるべしという日数が指定されている。これを満しながら毎日ひとつずつ仕事をし続けることができるだろうか。できるためには明らかに、指定された日数の逆数の和（密度）が1以下である必要があるが、逆に密度が或る程度小さければ十分であることも判っている。本講演ではこの問題について、必要条件や十分条件、判定する方法（アルゴリズム）やその効率などを中心に、最近の研究動向を交えて紹介する。</p>
講義 期間 ・ 題目 ・ 内容	<p>5月19日(火)～5月22日(金) 各日 15:00～18:00 「計算理論特論」</p> <p>計算理論・アルゴリズム論の近年の幾つかの話題について解説する。広範な理論を系統立てて積み上げることよりも、具体的な問題を通して研究分野としての計算理論や離散アルゴリズム論の雰囲気に触れてもらうことを目的とし、あまり予備知識の要らない研究上の面白いトピックや未解決問題について紹介する。</p>
会場	川井ホール